

バスケットボール

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 松岡中学校体育館 Bコート

試合区分: No. 2 少年女子 1回戦

期 日: 2018(H30)年10月1日(月)

開始時間: 11:45

終了時間: 13:15

主催: 堀内 純

副審: 吉田 智子



福岡 (九州)	○ 106	24	—	18	● 83	新潟 (北信越)
		26	—	24		
		29	—	22		
		27	—	19		
		—	—	—		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	矢野 聖華	22	7	0	1	2	3	2
5	*	樋口 鈴乃	19	1	7	2	1	2	9
6		那須 楓	2	0	1	0	1	0	1
7	*	三浦 舞華	30	4	9	0	0	7	2
8		井浦 菜依	2	0	1	0	0	1	0
9		森尾 萌乃花	3	1	0	0	0	1	0
10		田代 ゆい	0	0	0	0	0	1	0
11		稲垣 結乃	0	0	0	0	0	0	0
12		中崎 ゆめ	0	0	0	0	1	0	1
13	*	中園 陽菜乃	6	0	3	0	0	5	4
14		留森 香実	2	0	1	0	1	1	0
15	*	木村 瑠希	20	0	9	2	1	7	7
HC		池田 憲二 / TEAM							
		合計	106	13	31	5	7	28	28

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	松浦 なすな	10	2	2	0	1	5	2
5		須永 悠佳子	10	0	5	0	4	0	1
6		向川 葵	3	0	1	1	2	2	1
7		奈良 凛音	0	0	0	0	0	0	1
8		渡邊 佳奈子	0	0	0	0	0	0	0
9		柴山 瑠菜	0	0	0	0	0	1	0
10	*	伊藤 和希	16	4	1	2	0	8	1
11		山口 里奈	4	0	2	0	0	2	0
12	*	木村 真唯	9	1	3	0	1	2	8
13	*	小野寺 佑奈	9	1	3	0	1	8	6
14	*	青山 檜里	22	0	11	0	1	3	1
15		松山 玲奈	0	0	0	0	0	0	0
HC		伊藤 翔太 / TEAM							
		合計	83	8	28	3	10	29	21

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、お互いにマンツーマンディフェンス。両チームの間で、ドライブインとアウトサイドシュートの攻防が続く。福岡県は、#13の速攻、#15のポストプレイ、#7のドライブインなどで着実に得点を重ねる。対する新潟県は、#13、#10の3P、#14の2Pで攻めるが、福岡県の激しいディフェンスの前に苦しいシュートが続き、24-18と、福岡県のリードで終了する。

第2ピリオドの開始早々、福岡県#15のゴール下のシュートが決まる。すかさず、新潟県が1回目のタイムアウトを取って流れを変えようとするが、なかなか変わらない。残り4分に、福岡県#4に2本連続の3Pを決められ、2回目のタイムアウトを取る。新潟県は速攻からの#4の3P、#13の2Pと、立て続けに決めて詰め寄り、前半を50-42で終了。

第3ピリオド、福岡県のピックプレイでの#4の3P、インサイドプレイでの#15の2Pに対して、新潟県は速いバス回しからの#10の2P、および3Pで反撃する。新潟県は残り5分で2-3ゾーンディフェンスに切りかえるも、福岡県にディフェンスリバウンドを取られ、立て続けに速攻を出されて引き離され、78-64で終了。

第4ピリオド、新潟県は2-3ゾーンディフェンスで圧力をかけるが、福岡県#5が落ち着いてゲームをし、#4の3P、#7のドライブインで得点を重ねる。新潟県も#5のステップイン、#14のリバウンドシュートやドライブインで食いつかる。106-83と福岡県が底力を見せつけたゲームであったが、果敢に戦った新潟県の粘りも称えたい。

担当者: 齊藤 利秋 (一社) 福井県バスケットボール協会

(公財) 日本体育協会、(公財) 日本バスケットボール協会、(一社) 福井県バスケットボール協会

